

国際課活動レポート



◆スペイン・ガリシア州青少年交流派遣（3月4日～13日）

和歌山県とスペイン・ガリシア州はともに世界遺産である「熊野古道」と「サンティアゴの巡礼路」を有し、1998年に姉妹道提携を結んで以来、様々な分野での交流を行っており、2010年からは青少年代表団の派遣・受入を行っています。

今年は3月4日（日）～13日（火）、15名の青少年がガリシア州を訪問しました。

世界遺産であるサンティアゴ・デ・コンポステーラ旧市街に滞在し、大聖堂、巡礼博物館、民族博物館で歴史や文化を学びました。ガリシア州の最西端、“地の果て”と呼ばれ、巡礼路の最終目的地ともされるフィニステレ岬を1時間ほど歩き、巡礼路を知ることができました。サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学で和歌山県のことを英語で紹介したり、座談会をしたり、また、3泊4日のホームステイを経験する中で、言葉の壁を超えた交流を行うことができました。

◆駐日アルゼンチン大使来県（4月14日）

日本とアルゼンチンの外交関係樹立120周年を記念し、アラン・ペロー駐日アルゼンチン共和国特命全権大使が来県され仁坂知事を表敬訪問されました。

ペロー大使は移民された方々や在アルゼンチン和歌山県人会の存在等、和歌山県とアルゼンチンが特別な繋がりを持っていることから、今後はこの繋がりを礎にしてビジネス交流や人材交流を拡大することの重要性について述べられました。

仁坂知事は、世界的に有名な旅行ガイドブック「ロンリープラネット」において紀伊半島が世界の観光地で第5位に選出されたことをうけて、アルゼンチンからの誘客にも取り組んでいることを紹介しました。

